

公民連携対話窓口「いっしょにやらいや」実績（令和6年度末時点）

種類	No.	提案 年度	実施 年度	タイトル	提案者	提案内容（概要）	市へのメリット	提案者へのメリット	実施内容	実施成果	担当課
自由 提案	1	R1	R2	弓浜コミュニティ広場ク ラブハウス設置	一般財団法人 鳥取県サッカー協会	○鳥取県サッカー協会が弓浜コミュニティ広場にク ラブハウスを設置することにより、広場利用者の利 便性の向上を図る。設置後、市が5年間賃借した 後、協会から市に無償譲渡する。（リース方式）	・施設の利便性向上 ・市単独で事業実施するより建設費 を抑えることができる。	・利便性の向上によりサッカー利用 者の増加が見込まれる。	○令和2年10月11日オープン ○市直営にてクラブハウスを設置（防衛省 交付金及び日本サッカー協会の助成金を活用） 一部採用 （クラブハウス設置の趣旨は採用し、リース 方式は不採用）	●クラブハウス設置による、利用者の利便性の向上（熱中症の防止、荒天時の退避）による広場の 利用者数の増。 設置前 R元年度 利用件数 291件 利用団体 41団体 利用者数 17,775人 設置後 R6年度 利用件数 675件 利用団体 73団体 利用者数 42,678人 ※上記の数値は、第1多目的広場のみ（第2多目的広場を除く。） ※第2多目的広場について、利用申請を義務付けておらず、正確な集計数値が取れていないため。 ●コミュニティ広場利用者からの声 ・練習後、チームでミーティングできる部屋があるのはありがたい ・安全に荷物を置く場所ができて良かった ・雷などの急な天候不良時に、逃げる場所があることはとても安心 ・すべての部屋にエアコンがあるのはありがたい ・更衣室は2部屋までの施設が多い中で、4部屋あることは大会を開催する際にとてもありがた い	まちづくり企 画課
	2	R1	R2	米子市観光センターと温 泉資源を活用した「ダン スの聖地化」事業	鳥取県ダンススポーツ連盟	○米子市観光センターにダンススポーツに適した機 能を付加することにより、ダンススポーツの振興に よる皆生温泉の活性化を図る。	・施設の利便性向上 ・観光センターの機能強化による新 たな誘客の増加	・施設の利便性向上 ・ダンスを楽しむ場所が増え、ダン ススポーツの振興に繋がる。	○令和3年1月に整備完了	●観光センターの利用件数及び利用人数の増。 （多目的ホール） R2 261件・4,430人 R3 238件・4,580人 R4 292件・7,139人 R5 412件・9,318人 R6 418件・8,818人	観光課
	3	R1	R3	バーベキュー場運営	株式会社 スマイルキューブ	○弓ヶ浜公園旧わくわくランド内にバーベキュー台 を設置し、バーベキュー場として運営することによ る公園の利活用を図る。	・弓ヶ浜公園旧わくわくランドの有 効活用 ・弓ヶ浜公園の新たな誘客につなが る。 ・施設使用料が毎年、市の収入とな る。	・市有財産の利活用（既存の駐車 場、広場を活用できる。）	○令和4年4月1日オープン	●公園内使用にかかる行政財産使用料 令和5年度27,336円／年、令和6年度27,336円／年 ●公園利用者数 令和5年度279人 令和6年度170人 ※営業期間 7～9月	都市整備課
	4	R3	R3	白鳳の里をフレイルの拠 点として活用する実証事 業	株式会社コロンブス	○白鳳の里をフレイルの拠点として活用する実証事 業によりフレイル予防の実践を図る。	・市有施設の有効活用 ・提案者が開発したフレイル早期発 見システム（ASTERⅡ）を使用するこ とで、ICTを活用したフレイルの早期 発見が可能	・市有財産の利活用（温浴施設と飲 食施設を兼ね備えた白鳳の里の資源 を活用できる。）	○「フレイル対策拠点事業」（令和3年6 月補正予算）として、令和3年9月から令 和4年3月の間にフレイル予防に係る運動 教室を実施。	●実施期間内（令和3年9月～令和4年3月）において、6つのフレイル予防教室を延べ118 回開催、延べ参加者数940人。 ●フレイル対策の体制を強化するため、令和4年度にフレイル対策推進室の設置、令和5年度に フレイル対策推進課を設置。	フレイル対策 推進課
	5	R3	R5	米子市公会堂前大型LED ビジョンを利用した情報 発信	株式会社染創	○交通量の多い公会堂前に大型LEDビジョンを設置 することにより、効果的な官民の情報提供を図る。	・費用をかけず、交通量の多い場所 で効率よく市政情報を発信できる。 ・土地賃付料及び放映料が毎年、市 の収入となる。	・市有財産の利活用（交通量の多い 交差点に面した場所で、事業を実施 できる。）	○令和5年5月15日から放映開始。	●本市の情報発信に寄与。 ●LEDビジョン設置費用、稼働後の電気代、修繕費等の維持管理費ついて市の負担はなし。 ●本市の健全財政に寄与。 設置による市への収入（630,000円／年） ・行政財産使用料（土地）30,000円／年 ・広告放映料 600,000円／年（50,000円／月） ※事業期間10年	文化振興課
	6	R3	R4	米子市学校校庭芝生化事 業「外で遊ぶ元気な子ど もをふやさいや」	株式会社SC鳥取	○市内小学校の校庭等の芝生化を行うとともに、自 動芝刈りロボットを用いた管理及び芝生の運用（子 どもが遊べるプログラムの定期開催等）を行う。	・提案者は芝生生産を耕作放棄地 で行っており、市の課題である耕作放 棄地対策となる。 ・校庭芝生化により、こどもの怪我 防止、校庭温度上昇抑制等が期待で きる。	・提案者の所属するJリーグの基本理 念「Jリーグ百年構想」に則った地域 密着施策の推進	○令和4年度から事業を開始。	●芝生化実施済みの小学校：10校／23校 R4 淀江 成実 R5 尚徳 伯仙 五千石 河崎 R6 彦名 啓成 R7 車尾 箕蚊屋 ※8年度以降については、各学校の意向を踏まえ、1年度に1～2校ずつ実施増を図る予定。 ※維持管理をSC鳥取に委託。	こども施設課

種類	No.	募集 年度	実施 年度	タイトル	内容（概要）	市へのメリット	提案者へのメリット	応募者	実施内容	実施成果	担当課
特定課 題提 案	1	R1		「元老人憩いの家」跡地利 活用促進事業	○平成30年度末をもって用を廃し た、「元老人憩いの家」跡地は、海・ 砂浜までつながっている景観に優れた 場所に立地していることから、観光に 資する目的で有効活用することによ り、“皆生温泉”というブランド力の 向上及び更なる誘客につながるること から、売却・跡地利用を検討するもの。	○平成30年度末をもって用を廃した、「元老人憩 いの家」跡地の利活用 ○「皆生温泉」のブランド力の向上及び更なる誘客 に寄与	○市有財産の利活用（海・砂浜まで つながっている、景観に優れた立地 条件のもと、事業を実施できる。）	東大産業株式会社	○ホテル計画（開業時期：令和7年予定） ※皆生温泉のロケーション等を最大限いか したホテルとして、エリアの魅力を発信 ※令和6年度計画変更	●皆生温泉エリアの観光振興に資するホテル計画を進行中 ※令和7年度開業予定だったが、開業遅延の見通し。 ※早期の開業に向け、引き続き調整を図る。	観光課
	2	R4	R5	米子市公共下水道施設等 地域連携方式 包括的民間委託導入事業	○公共下水道施設（終末処理場3か 所、ポンプ場8か所、マンホールポン プ場49か所、真空ステーション1か 所）の運転維持管理業務	○民間専門企業の技術力の活用により、運転、維 持管理業務に必要な技術力の高度化に対応可能 ○運転・維持管理等に要していた時間を、政策立案 業務に充てることができ、職員の生産性及び市民 サービスの向上に繋がる。	【受託者のメリット】 ○複数年の包括的委託により、民間 事業者の創意工夫を発揮しやすくな る。	クボタ環境・後藤工業・東芝共同企 業体 （代表企業 クボタ環境エンジニアリ ング株式会社中国支店）	○令和5年4月1日から令和8年3月31日まで （3年間）	●包括委託することによる定性的効果 ・民間の専門企業と地元企業が連携することで、地元企業に下水道インフラ管理 技術の移行を図ることができるようになった。（地域連携方式の実現） ・市職員は、施設の再構築（内浜処理場再構築事業）や各施設の長寿命化対策といった 運転業務以外の企画立案業務に注力できるようになった。	施設課
	3	R6	R6	米子市二十歳を祝う会を いっしょにいわおう	○地元事業者の皆さまと一緒に二十歳 の方を盛大にお祝いすることにより、 「ふるさと米子」への愛着の更なる醸 成を図る。	○二十歳を祝う会の実施に当たり、協賛金、協賛物 品の提供等により市内の事業者が関わることに より、米子市全体で祝福する空気を醸成する。	○二十歳の方に地元事業者が認知さ れることにより、将来就職活動をする 際に地元事業者が選択肢に入るこ とを期待する。	有限会社京都屋、株式会社稲田本 店、エア・ウォータアグリ&フーズ 株式会社、寿製菓株式会社、株式会 社源吉兆庵、永伸商事株式会社、 ローカルエナジー株式会社	○令和7年1月3日に開催	●令和7年1月に開催された米子市二十歳を祝う会の実施に当たり、地元事業者か らの協賛を募り、7事業者からの協賛をいただいた。協賛品については、記念感 想文の副賞、抽選会景品により出席者への提供、協賛金「20年のあゆみ（映像 費用作成）」を作成し当日に放映を行った。 ●出席者に地元事業者を認知していただき、将来就職活動をする際に地元事業者が 選択肢となることを期待。	生涯学習課